

方針と重点	市の基本施策	教育目標	資質・能力	育てたいとの関わり	基本施策	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)		評価 A S D	分析と改善点(「後期学校評価アンケート」の結果より)
方針・重点 ・地域・高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む	①②③④ 「なりたい自分」を協働する学校づくり	夢 連帯 感動 「自分らしさが発揮できる学校」	対話を通して自分の考えをつくり 動き出す力	学びづくり	①	学びの深まりを実感できる授業づくり	①対話を通して学びを深める教科指導 ②個と向き合う教科指導	B	「後期学校評価アンケート」は、生徒と保護者が4件法で回答 ・「学びづくり」「生き方づくり」は、生徒の回答結果を明示 ・「誇りづくり」は、保護者の回答結果を明示 ※回答結果は、肯定的評価(あてはまる、どちらかといえばあてはまる)の割合	
						①	目標を達成する自主学習		①目標設定及び計画の立て方、振り返りの見届け ②手帳によるタイムマネジメントの見届け ③個に応じたカウンセリングの充実	B
						③	探究的な「総合的な学習の時間」		全校:My Passion Project(個人探究) 1年:郷土を知る(自然、環境、産業、歴史等) 2年:郷土の人に学ぶ(生き方、職業観) 3年:郷土を守り拓く(地域協働プロジェクト)	
				生き方づくり	②	継続した「なりたい自分」づくり	①「なりたい自分」の自己開示 ②仲間の生き方から学ぶ場の設定 ③自分らしさを表出する場の設定	B	「なりたい自分」に近づくために努力している…83.9% ・4月、生徒たちは、これまでの生活体験を振り返り、自身の強み(長所)や弱み(短所)を見つめ直ししながら、「なりたい自分(生き方の目標)」を設定した。設定した「なりたい自分」と、それに向けて継続するべきことを記し、机上に貼って視覚化した。 ・三者懇談時(7・3月)に、「なりたい自分」とともに、目標の達成に向けて自己努力してきた過程を、保護者にプレゼンテーションした。	
						主体的・自治的な特別活動	①願いと見通しを大切に生徒に任せる指導 ・体育祭、北稜祭、3年生を送る会、地域貢献活動 ②責任をもたせる一人一役の指導		A	主体的・自治的な特別活動 ・生徒が主体となって学校行事の企画、運営を行い、生徒一人一人が「自分らしさ」を発揮できる場を大切にできた。体育祭では、実行委員の生徒が、「運動の得意な子も苦手な子も、楽しめる体育祭にしたい」という願いをもち、選択種目(玉入れ、綱引き)を実施した。また、「地域の皆様や先生方にも楽しんでいただきたい」という思いから、参観者参加型種目や教職員参加型種目も企画、実施した。 ・北稜祭(合唱祭)、高山市・白川村中学校音楽会では、生徒会が大切にしている合唱活動の成果を発表し、保護者や地域の皆様から温かいお言葉をいただいた。
						②	個に寄り添い、向き合う教育相談			①一人ひとりの居場所づくり(アルプス教室の活用等) ②組織的な教育相談の充実(全職員マイサポーター制度)
				誇りづくり	③	家庭との連携	①学校便り、各種広報、SNS等による情報発信 ②学校公開(授業参観3回+講演会2回+三者懇談2回)	A		学校は、学校や生徒の様子を分かりやすく伝えている…100% ・学校便りや連絡システム「すぐーる」を活用し、随時、生徒たちの活動の詳細を保護者に発信した。 ・9月の授業参観では、全学年が「探究(総合的な学習の時間)」を公開し、保護者参加型の授業(1年生:モリミライ 2年生:職業講話 3年生:SDGsの地域創生カードゲーム)を実施した。
						地域との連携	①北稜校区保小中の連携 ②学校運営協議会との連携 ③独居老人との年間を通じた交流 ④たからまちづくり協議会との連携		A	地域へ積極的に動きかける生徒会活動 ・生徒会が主体となり、年間を通じて地域の高齢者の方々や地域の皆様とつながる活動を実施した。花を届ける活動では、生徒一人一人が、二鉢の花の苗を植え、夏休みの間に家庭で育てた後、9月に地域の高齢者の方々へお届けしました。お花を受け取られた方々から「綺麗なお花をありがとう」「去年いただいた植木にも、今年も花が咲きましたよ」といった温かいお言葉をいただき、生徒たちは大変喜んでいました。
						対話し自ら動き出す職員集団	①深い学びを実感させる教科専門性の向上 ②深い生徒理解と見届け、価値付けの指導 ③勤務時間内のタイムマネジメント(時間外勤務時間45時間以内) ④危機管理意識をもち、素早い情報共有と対応			A

学校運営協議会における主な評価内容

- ・授業を参観し、生徒たちが対話を重視していることがよく分かった。意見をまとめて発信することは、実社会でも共通する大切なことであり、感心した。
- ・「地域協働プロジェクト」は、地域と連携して取り組みであり、さらに実社会で必要な資質、能力を育むことが考えられているところが素晴らしい。
- ・「篠原無然没後100年行事」で北稜中の合唱を聞かれた地域住民から「感銘を受けた」という声を聞いた。

※右記の二次元コード(QRコード)を読み取ると、「後期学校評価アンケートの結果と教育実践」をご覧いただけます。

